

Folk Performing Arts of Gunma

ぐんまの民俗芸能

Gunma Prefectural Women's University

in 県立女子大

vol.3

～獅子舞～



令和6年

11月9日(土)

13:00～(開場12:30)

群馬県立女子大学 講堂

出演 千本木龍頭神舞保存会

◆レクチャー「地平を跳ねる獅子を見た」(30分)

群馬県立女子大学群馬学センター 教授 築瀬大輔

◆実演 千本木龍頭神舞 (60分)

(子どもによる舞、大人による舞、獅子舞の説明)

参加費 無料 (要予約)

受付期間 8月9日(金)～11月8日(金)

受付期間

電話または申込フォーム TEL 027-243-7200
(電話受付 8:30～17:00 日曜・月曜・祝日・月曜祝日の場合は翌火曜を除く)
公益財団法人群馬県教育文化事業団
〒371-0801 前橋市文京町 2-20-22



申込みフォーム



事業団 HP

「受け継がれる 群馬の獅子舞」

千本木龍頭神舞

(群馬県指定重要無形民俗文化財)



千本木龍頭神舞は、鳳凰元（ホウガン）、雌獅子（メジシ）、雄獅子（オジシ）の三頭が一組で舞を行う一人立ち三人連舞で、頭が龍であることや、鳳凰元と雌獅子の角の根本に神面が彫刻されていることから、「龍頭神舞」と呼ばれています。

舞の始まりは定かではありませんが宝暦年間（1751年～1764年）には始まっていたと伝えられています。またこの舞は、南・北千木町の鎮守千本木神社の氏子中に伝えられてきました。保存会では地域の子どもたちにも指導を行っており、10月に行われる秋祭りでは子ども獅子と大人獅子が舞を披露しています。

獅子の頭には、織物の染料で紫・緑・赤・黄色に染められた和紙の「鳥総（トブサ）」がついています。千本木龍頭神舞は、群馬県内でも屈指のあばれ獅子で、獅子が激しく舞うことにより、鳥総が千切れ落ち、落ちた鳥総を子どもたちが競い合って拾い集めます。鳥総は、家の玄関に飾ると魔除けになるといわれています。

会場

群馬県立女子大学 講堂
佐波郡玉村町上之手1395-1

守りたい・伝えたい・育てたい
群馬の伝統文化

『ぐんま地域文化マップ』運営中
県内の様々な民俗芸能・民俗行事を検索いただけます

▶文化マップ



▶文化マップ「X」
(旧ツイッター)



※駐車場は台数に限りがございます。予めご了承ください。